

に向けて～！ からまず一歩！ きることから！

当別町が自立するための行財政改革を
進める町政へのご理解を！！



みんな一丸！駅前大通り花壇整備

平成16年第3回定例会は、6月15日～17日までの3日間の日程で開催されました。

一般会計、特別会計の補正予算、当別町老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定などを審議し、提案された議案すべてを原案のとおり可決しました。

町民のアイデアで明るく、楽しい将来像を描きましょう。



今回の参議院選挙で当別町の投票率は
前回の参議院選挙より大幅にUP！

参議院議員選挙投票率
平成13年7月29日 59.41%
平成16年7月11日 67.17%

自分文で

Ⅱ 六月定例町議会行政報告の要旨

町村合併に関する取組につきましては、平成十五年七月三十日に「当別・月形・新篠津任意合併協議会」を設置し、協議を行ってまいりましたが、三町村の合併協議に対する考え方がそれぞれ異なることから、平成十六年六月三十日をもって協議会を解散することといたしました。

これまで以上に、住民の皆さんや地域社会活動を行う団体の皆さんなどが連携し、協働することによって、地域づくりを進めていく必要があると考えます。

このため、新たな行財政システムの再構築を図るため、住民参加の推進、事務事業の見直し、行政組織の見直し、財政基盤の健全化の四つを柱とした改革を推進してまいりたいと考えております。

後藤正洋議員

自治功労賞受賞

平成十六年六月二十九日、平成十六年度（第二十三回）石狩支庁管内町村議会議員研修会において、後藤正洋議員が石狩支庁管内町村議会議長会自治功労者として表彰されました。



（於：浜益村ふれあいセンターきらり）
～後藤議員はH5.7.26から現在まで当別町議会議員として活躍し、文教厚生常任委員長、学園都市線電化・複線化促進特別委員会副委員長等を歴任されました。議員生活10年以上勤務し今回表彰されました。～

第二回臨時会

H16.5.20

第二回臨時会は、五月二十日に開催され、報告三件が承認、議案二件が原案可決されました。

一般会計では体験的環境学習推進事業費として、四八〇万円の計上、緊急地域雇用創出特別対策推進事業費として、一、四九一万円の増額、また、国保特別会計は、前年度繰上充用として一、六三三万円を増額する補正予算を可決しました。

その他の議案は次のとおりです。

専決処分の承認

・平成十五年度当別町一般会計補正予算（第七号）

・当別町税条例の一部を改正する条例制定

・当別町都市計画税条例の一部を改正する条例制定

一般会計 増額補正

平成十六年度当別町一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ三億八、六七〇万二千円増額しこれを可決。総額一〇二億七、三三五万八千円としました。歳出の主なものとしては、人材育成基金積立金として五〇〇万六千円、街路事業に伴う用地購入費の増六、七二三万八千円、同事業物件移転補償費の増三億七八九万六千円などを増額補正しました。

議員提案

本定例会において、議員提案が三件上程され、採決の結果、全会一致で可決されました。

議員提案第一号

「三位一体の改革」の見直しおよび自治体財政確立を求める意見書の提出について

提出者・高谷 茂

【原案可決】

議員提案第二号

緊急地域雇用創出特別交付金制度の延長・改善を求める意見書の提出について

提出者・高谷 茂

【原案可決】

一般質問

一般質問は六月十六日から十七日までの二日間行われました。

小野広実議員、白木和廣議員、堀梅治議員、市川正議員、山田明美議員、後藤正洋議員の六名が登壇し、町政を正しました。

詳しくは四ページから九ページに掲載しています。

議員提案第三号

三〇人以下学級実現等教育予算の充実を求め、義務教育費国庫負担法を改正することに反対する意見書の提出について

提出者・高谷 茂

【原案可決】

自立であれば、どのような政策を進めるのか



小野 広実 議員

町長 体系整理し効率的な具現化

今後の合併について

どうあるべきか

問 町長は自立する町を目指す四つの方針を行政報告で述べたが、最終的には町長の施策である「美しいまち当別をみながらつくる条例」そして、将来は当別の市街も太美の市街も森と林に囲まれた町を目指すという構想であるが、町民が広くこの施策に協力するための具体策はあるのか。

また、将来とも合併をしないものではない、と述べているが、真意はどういうことか伺いたい。

町長 「美しいまち当別をみながらつくる条例」の目的達成のために現在、効率的に具現化する体系

の整理を行っております。単に美しいまちをみながらつくりましょうということでは、花を植えていくとか、お願いするだけではなくて、体系的に整理を始めました。

その中で、町と住民、団体それぞれが役割をきちっと示し、行政と民間が協力し合って「美しいまち当別」の実現に向けて取り組んでいきたいと



花壇整備風景

宅の適正な管理などを中心として具体的な施策を盛り込んでいきたいと考えています。

また、美しいまちづくりに関する人材の育成について、各種研修、生涯教育としての取り組みを進めるとともに、自然環境の保全の取り組みとしては、廃棄物の不法投棄の防止や空き地の適正管理などを盛り込んでまい

の建設促進、ごみ減量アクション策定、空き地景観、フラワーポットの整備など、ユースエコフォーラム等々含めまして学校の教育の授業、教育での取り組みなど、大体八五項目以上のことにつき「美しいまち当別」の実現に向けた計画の作成に取り組む、計画的に美しいまちづくりを進めたいと考えております。

合併については三町村の任意協議会が始まった最初の基本四項目で、現行法の期限内に合併をするということ、平成十七年三月前の合併を目指すと決まりましたが、この考えに違いがでてきたので、協議の結果、三町村がそれぞれ、ステップを進めるために任意協議会においての協議は一旦区切りをつけ、今月の三十日で解散をすることになりました。この協議事項に基づきそれぞれの首長が署名して今回解散することになりました。

今後、市町村合併を推進するための国の基本指針、それに基づく北海道の構想などが示されるこ



変化の時代に直面する当別町役場庁舎

とになります。それらを十分見きわめながら、当別町として昨日示したまちづくり基本方針に乗ってどんどん進んでいく考えであります。早急に行財政システムの再構築を進めていく考え方であります。今後、相手が当別町の新しい基本方針に理解を得られるならば、今までの対等合併方法だけではない、合併も考えていかなければならないという思いでございます。ご理解をいただきます。



木のあたたかみある門がまえ

老朽化が進む当別町文化財の
伊達邸別館の補修を



白木 和廣 議員

教育長
歴史遺産の思いを
受けとめて

文化財伊達邸別館の保存
で村政執行当初の精神も
受け継ぐべきである

問 この建物は明治十三
年の建築であり、多くの
名士来村の折の宿泊、懇
談と村政執行のため諸会
議に使用され、昭和五十

五年、当別町に寄贈され、
移転復元工事等を行い昭
和五十七年十一月一日開
館、以来二十二年が経過
しているが、文化財を未
永く保存する観点から財
政難の折ではあるが、早
急に修繕すべきである。
教育長の考えを伺いたい。
教育長 伊達邸別館は先
人の苦勞を偲び、開拓精
神を後世に継承する象徴
であり、当別町唯一の建
築物文化財に指定され、
現在の位置で一般公開さ
れている。以後二十二年
経過し柱の一部や壁板の
腐食が進んでいる。

建造物文化財の性格か
ら、当時の状況を保存す
るため、修理、補修は一
度もしていません。大き
な破損につながらないた
めの補修経費として町長
部局に要求しましたが、長
ども、厳しい財政状況と
補修が逼迫状況にないとの
判断から予算計上は見
送られた経緯がある。



当別の歴史を見続けてきた伊達邸別館は
これからも町民を見守りつづけるでしょう...



入植当初はたくさんあった古木
(直径 約125cm・円周 約400cm)

ともお聞きし、本町の歴
史遺産への思いに対し改
めて敬意を表する。教育
委員会は保存と維持管理
に努めていかなければな
らない。今は財政状況か
ら大幅な改修はできない
が、今後の安全性の確保
と維持のため必要な補修
箇所を明らかにし、その
結果をもとに貴重な浄財
を生かし、次期議会に補
正予算を要求し、今年度
中に必要な補修を進めて
いきたい。

町民こそ主人公の町づくりの
展望を切り開くために



堀 梅治 議員

町長
リーダーを支援したい

平和のために
問 今イラクでは子供が大人になれないほど米英軍による戦争で国際法にも反する行為が行われ子供達や老人が犠牲になっています。こんな無謀な戦争はやめさせるべきと考えますが町長の認識を伺いたい。

町長 一日も早く平和な世界が築かれることを願っています。イラク復興支援の特別措置法を政令改正だけで、今後も自衛隊を派遣することは国民の同意は得られないと個人的には思う。国民の支持が得られるように、国会の中で議論をしていただきたい。

お年寄りの生活を
守るために

問 年金問題は今国政の中心的課題になっています。当別町の収納率は六十九。六%と聞きます。多くの年金生活者を苦しめる政府の年金改革について、町長の認識を伺いたい。

町長 今回の改正は、給付と負担の観点から重要な改正でした。今後、給付水準は高齢化、経済情勢などにより大きく影響され、少子化が予想以上に進めば、年金財政は大変厳しい状況になると認識しています。年金制度を将来持続可能にするには、制度改革と国民の理解が必要であり、国民参加のもと十分議論されることを期待している。

森林組合の不祥事
について

問 二千万円の使途不明金とも云われています石狩北部森林組合の組合長は町の監査委員でもあり、組合員である町にその報告があったのか又、町長の認識を伺いたい。

町長 残念なことですが、

森林組合から今年の二月ごろと思いますが情報を得ています。当別町としては、独自に解決策を講じている森林組合の姿勢を尊重し、動向を見守っていました。過日六月八日に森林組合から解決の見通しがついたとの報告を受けましたが、今後森林組合が早期に総会を開催し、通常業務を執行して頂きたいと考えています。また今後、森林組合の広域合併を含め、弱体化している森林組合の再建に向けた議論が重要と考えています。

町村合併について

問 今回の新篠津村、月形町との合併の失敗からどんな教訓を得たのか、又これからの当別町の発展の糧にどうするのか。

町長 どんな教訓を得たかということでしたが、行財政の現状を見直すことができ、非常に有意義でした。

町基幹産業の農業を
守るために

問 今年は国際コメ年です。百万町歩をこえる転



風が吹くたびに波が起きる麦の海

くのか。

町長 地域が連携することが必要であり、経営体や認定農家が地域の担い手として目標を明らかにし、持続可能な農業を推進することになります。町はこれらの農業者が自主的な判断で選択した経緯、推移を見守りたい。経営体支援体制の検討、経営体のリーダーに対する支援なども国に要請していきたい。今回、米政策改革大綱と制度が変わったことは生産者みずから将来について検討するものと考えています。

町財政について

問 苦しい町財政の再建計画をお聞かせ願いたい。

町長 今後の行財政改革の取り組み方は合併協議を断念したから急いで検討したのでない。急に新たな改革案を打ち出したのではなく、具体的なことを町独自、当別町だけの考えで出している。方針は急が変わっていない。

作です。転作交付金は北海道で百十六億円の削減です。この当別町でも約三十億円から十七億二千万になり農業者は戦後最悪の苦しみを迎えています。こんな当別の農業にどんな展望をしめしてい